

# 2018年 春(3月～5月)の天候経過

平成30年6月1日  
新潟地方气象台

## 1. 北陸地方の今春(3～5月)の特徴

### 【かなりの高温、かなりの多雨、多照】

天気は概ね数日の周期で変化した。偏西風が日本の北を流れる時期が多く、寒気の南下が弱かったことや、日本の東や南で高気圧が強くと南から暖かい空気や湿った空気が流れ込みやすかった。

このため、北陸地方平均で統計を開始した1946年以降、平均気温平年差の高い方から3位(平年差+1.5)となった(1位は2016年・1998年の平年差+1.6)。

気温は、3月と4月はかなり高く、3か月平均気温はかなり高かった。

降水量は、4月はかなり多く、3か月合計の降水量はかなり多かった。

日照時間は、3月はかなり多く、5月は少なかった。3か月合計の日照時間は多かった。

## 2. 3か月平均(合計)と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差(比)と階級

北陸地方平均	3～5月	3月	4月	5月
平均気温平年差 階級	+1.5 かなり高い	+1.9 かなり高い	+1.6 かなり高い	+0.9 高い
降水量平年比 階級	135% かなり多い	120% 多い	148% かなり多い	143% 多い
日照時間平年比 階級	107% 多い	141% かなり多い	101% 平年並	90% 少ない

北陸地方平均とは、北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所(9地点)ごとの平年差(比)を平均したものです。

## 3. 月別の天候経過

(3月)【天気は数日の周期で変化したが、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。南から暖かく湿った空気が流れ込みやすかったため、かなりの高温・多雨・かなりの多照となった。】

上旬は、低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わった。期間のはじめと中頃は発達した低気圧の影響で大雨となった所があり、かなりの多雨となった。中旬は、低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わった。下旬は、期間のはじめに低気圧の影響で雨となったが、その後は高気圧に覆われて晴れた日が多く、かなりの高温・かなりの多照となった。

このため、月の平均気温はこれまでの極値更新となった気象官署や特別地域気象観測所があり、北陸地方の平均気温平年差は2002年(平年差+2.0)に次いで高い方からの2位となった。また、月の日照時間も極値を更新した気象官署があり、北陸地方の平均日照時間平年比は多い方の極値を更新した。

(4月)【天気は概ね数日の周期で変化したが、南から暖かい空気が流れ込みやすく、また低気圧や前線に向かって湿った空気が流れ込みやすかったため、かなりの高温・かなりの多雨となった。】

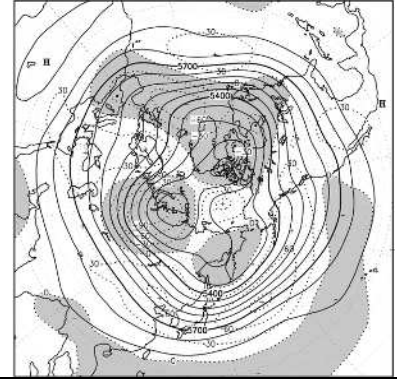
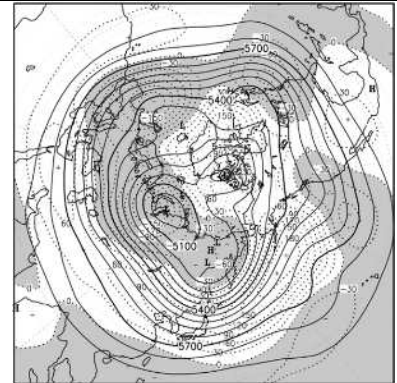
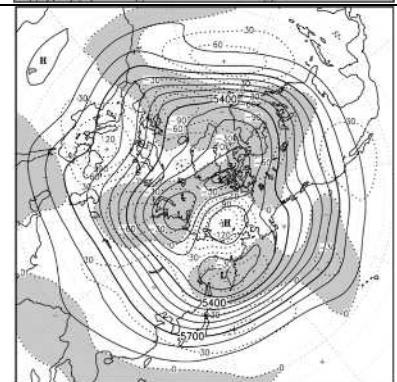
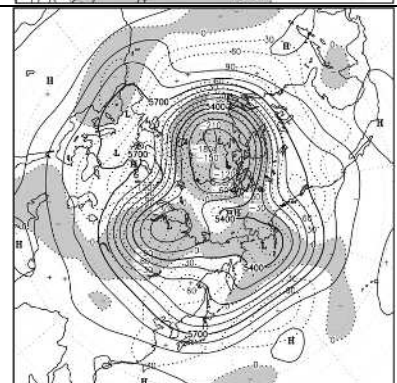
上旬は、期間のはじめは高気圧に覆われて晴れたが、その後は低気圧や冬型の気圧配置の影響で曇りや雨の日が多かった。中旬は、低気圧と高気圧が交互に通過して天気は数日の周期で変わった。下旬は、前半に低気圧の影響で雨の日が多かったが、その後は高気圧に覆われて晴れた日が多く、このため、かなりの高温となった。

(5月)【天気は概ね数日の周期で変化したが、日本付近を低気圧や前線が通過することが多かった。南から暖かく湿った空気が流れ込みやすい時期があり、高温・多雨・寡照となった。】

上旬は、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多かった。このため、かなりの多雨・かなりの寡照となった。中旬は、低気圧と高気圧が交互に通過して天気は概ね数日の周期で変わった。南から暖かい空気が流れ込みやすかったため、かなりの高温となった。下旬は、低気圧と高気圧が交互に通過して天気は数日の周期で変わった。

#### 4. 大気の流れから見た今春の特徴 (500hPa 天気図)

等高度線 (実線) の間隔は 60 m、ハッチ域 (陰影部) は平年より高度が低い部分 (負偏差域)、白抜き域は平年より高度が高い部分 (正偏差域) にそれぞれ対応している。

	<p>3 ~ 5月 ユーラシア大陸東部から日本の東にかけて帯状に高度が平年より高く、日本付近への寒気の南下が弱く、暖かい空気に覆われやすかった。また、偏西風は日本の北を流れる時期が多く、東日本以南では低気圧の影響を受けにくかったが、日本の東で特に高度が高かったため、本州付近には南からの湿った空気が流れ込みやすかった。</p>
	<p>3月 日本付近は東西に高度が高く、暖かい空気に覆われやすかった。特に日本の東で高度が高く、日本付近には南から暖かく湿った空気が流れ込みやすかった。偏西風は日本の北で強く、本州付近では弱かったため、東日本から沖縄・奄美にかけては低気圧や前線の影響を受けにくく、移動性高気圧に覆われやすかった。</p>
	<p>4月 日本の北では高度が低い一方、日本付近は東西に高度が高かった。このため、偏西風は日本の北で強く、強い寒気は高緯度帯にとどまり、日本付近は暖かい空気に覆われやすかった。また、偏西風が本州付近では弱く、東日本太平洋側から沖縄・奄美にかけては低気圧や前線の影響を受けにくく、移動性高気圧に覆われやすかった。</p>
	<p>5月 日本付近は平年より高度が高く、暖かい空気に覆われやすかったが、オホーツク海付近で気圧の尾根、日本海付近では気圧の谷となり、本州付近に寒気が流れ込む時期もあった。また、日本の東では特に高度が高く、本州付近には南から湿った空気が流れ込みやすかった。</p>

## 5. 参考資料

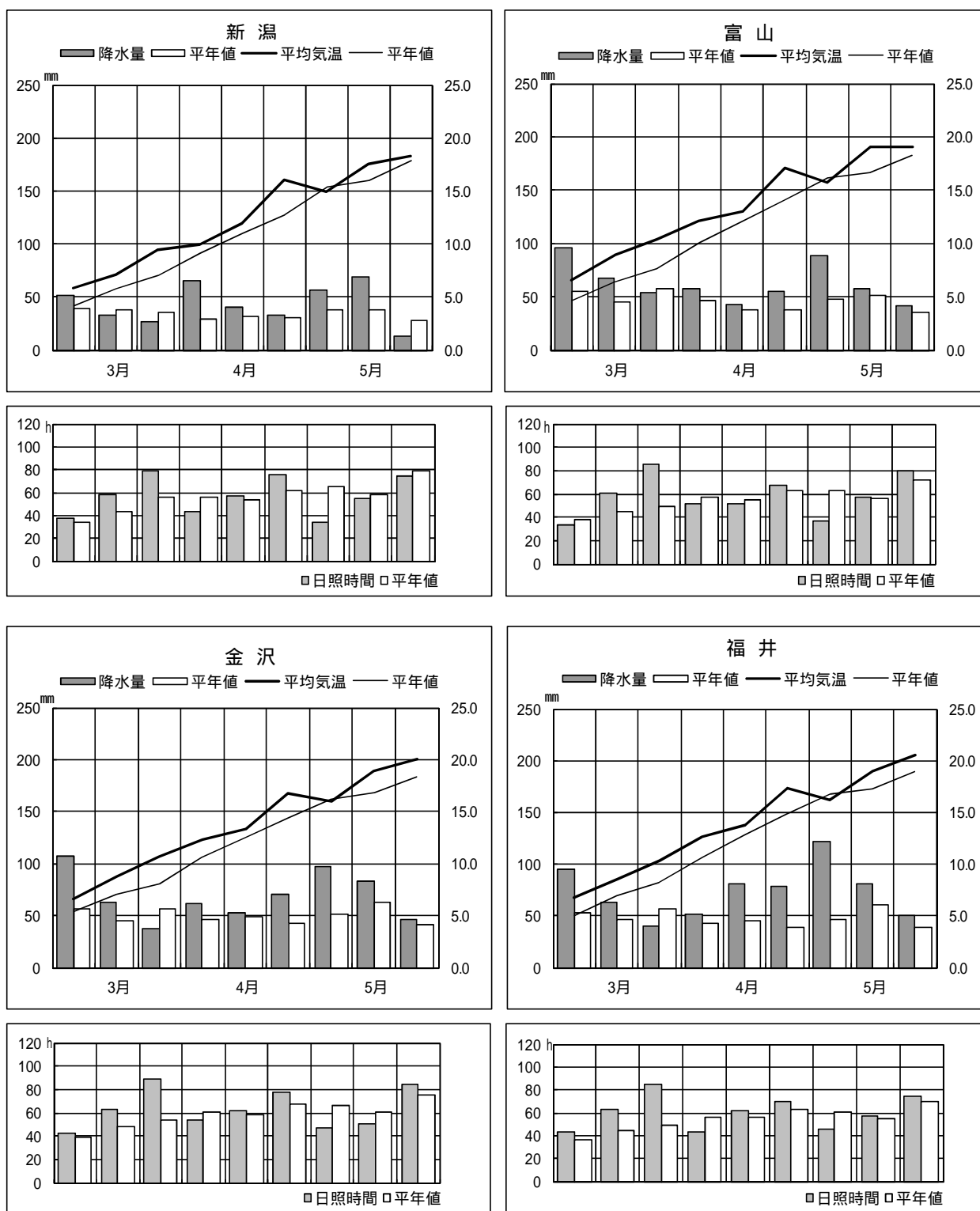


図1 新潟・富山・金沢・福井 旬平均気温・降水量・日照時間時系列

表1 北陸地方における3～5月の平均気温・降水量・日照時間

平均気温	3月		4月		5月		3か月平均	
	実況値	平年差 (階級)	実況値	平年差 (階級)	実況値	平年差 (階級)	実況値	平年差 (階級)
新潟	7.5	+1.8 (+)	12.7	+1.7 (+)	17.0	+0.6 (+)	12.4	+1.4 (+)
高田	7.6	+2.2 (+)	13.2	+1.7 (+)	17.2	+0.6 (+)	12.7	+1.6 (+)
相川	7.5	+1.3 (+)	12.1	+0.9 (+)	16.1	+0.6 (+)	11.9	+0.9 (+)
富山	8.7	+2.4 (+)	14.1	+2.0 (+)	17.9	+0.9 (+)	13.6	+1.8 (+)
伏木	8.3	+2.1 (+)	13.2	+1.5 (+)	17.4	+1.0 (+)	13.0	+1.6 (+)
金沢	8.7	+1.8 (+)	14.1	+1.6 (+)	18.4	+1.3 (+)	13.7	+1.5 (+)
輪島	7.5	+1.8 (+)	12.5	+1.5 (+)	16.7	+1.0 (+)	12.2	+1.4 (+)
福井	8.6	+1.8 (+)	14.5	+1.7 (+)	18.6	+0.9 (+)	13.9	+1.5 (+)
敦賀	10.1	+2.3 (+)	14.9	+1.7 (+)	18.8	+1.0 (+)	14.6	+1.7 (+)
北陸平均		+1.9 (+)		+1.6 (+)		+0.9 (+)		+1.5 (+)

降水量	3月		4月		5月		3か月合計	
	実況値 mm	平年比 % (階級)	実況値 mm	平年比 % (階級)	実況値 mm	平年比 % (階級)	実況値 mm	平年比 % (階級)
新潟	111.0	99 (0)	139.5	152 (+)	139.0	134 (+)	389.5	126 (+)
高田	156.5	81 (-)	73.0	76 (0)	150.0	157 (+)	379.5	98 (0)
相川	111.5	121 (+)	139.5	158 (+)	101.5	95 (0)	352.5	123 (+)
富山	216.5	137 (+)	154.5	126 (+)	186.5	139 (+)	557.5	134 (+)
伏木	179.5	129 (+)	177.5	157 (+)	186.5	148 (+)	543.5	144 (+)
金沢	207.5	130 (+)	184.5	135 (+)	225.0	145 (+)	617.0	137 (+)
輪島	176.5	132 (+)	228.5	202 (+)	181.0	142 (+)	586.0	157 (+)
福井	199.0	127 (+)	212.0	167 (+)	252.5	173 (+)	663.5	154 (+)
敦賀	181.5	121 (+)	184.0	155 (+)	218.5	154 (+)	584.0	142 (+)
北陸平均		120 (+)		148 (+)		143 (+)		135 (+)

日照時間	3月		4月		5月		3か月合計	
	実況値 h	平年比 % (階級)	実況値 h	平年比 % (階級)	実況値 h	平年比 % (階級)	実況値 h	平年比 % (階級)
新潟	175.1	131 (+)	175.5	103 (0)	164.3	81 (-)	514.9	102 (0)
高田	187.0	155 (+)	185.9	103 (0)	175.8	90 (-)	548.7	110 (+)
相川	176.7	134 (+)	172.8	97 (0)	166.7	85 (-)	516.2	102 (0)
富山	179.7	137 (+)	171.3	98 (0)	173.7	91 (-)	524.7	106 (+)
伏木	183.9	139 (+)	181.6	102 (0)	186.8	95 (0)	552.3	109 (+)
金沢	194.2	137 (+)	194.0	105 (0)	182.0	90 (-)	570.2	108 (+)
輪島	178.3	140 (+)	178.7	95 (0)	175.6	87 (-)	532.6	103 (0)
福井	191.6	147 (+)	174.2	100 (0)	177.1	96 (0)	542.9	111 (+)
敦賀	190.4	153 (+)	178.8	107 (+)	170.4	96 (0)	539.6	115 (+)
北陸平均		141 (+)		101 (0)		90 (-)		107 (+)

注1) 平年値は1981～2010年の資料から求めています。なお、新潟は観測場所の移転により、気温の平年値(統計期間1981～2010年)を更新しています。

注2) 階級欄の符号は、以下の事を示します。

(-) : 低い(少ない), (0) : 平年並, (+) : 高い(多い)

(-\*) : かなり低い(かなり少ない), (+\*) : かなり高い(かなり多い)

注3) 値の横に ) や ] がある場合には、使用したデータに欠測等が含まれていることを示し、×は欠測を示します。

) 付きの値は正常の値とみなせますが、] 付きの値は欠測等が多いため正常な値と同等とはみなせません。

このため、統計日数(統計に用いた品質が十分な日数)を气象台等に確認して、品質を確かめてください。

注4) この季節のまとめは、北陸地方の気象官署および地域気象観測所における気象観測値等をまとめたものです。

なお、資料は速報値であり後日の調査で修正されることがあります。

表2 北陸地方における3～5月の累年極値・順位(3位以内)更新

月平均気温高い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値	平年差	これまでの最高(西暦年)	開始年	平年値
3	1	富山	8.7	+2.4	8.6(2002)	1939	6.3
		伏木	8.3	+2.1	8.1(2002)	1884	6.2
		敦賀	10.1	+2.3	9.8(2002)	1898	7.8
	1=	輪島	7.5	+1.8	7.5(2002)	1930	5.7
		高田	7.6	+2.2	7.6(2002)	1922	5.4
	2	金沢	8.7	+1.8	9.0(2002)	1882	6.9
	2=	新潟	7.5	+1.8	7.7(2002)	1886	5.7
		福井	8.6	+1.8	8.7(2002)	1897	6.8
	3=	相川	7.5	+1.3	8.0(2002)	1912	6.2

注) =タイ記録を示す

月間日照時間の多い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 時間	平年差 %	これまでの最大(西暦年) 時間	開始年	平年値 時間
3	1	富山	179.7	137	175.2(1963)	1939	131.3
		金沢	194.2	137	186.3(1997)	1891	141.3
	2	高田	187.0	155	189.8(1931)	1922	120.7
		伏木	183.9	139	186.6(1931)	1893	132.4
		福井	191.6	147	203.1(1931)	1898	129.9
		敦賀	190.4	153	197.1(1931)	1914	124.4
	3	新潟	175.1	131	184.6(1963)	1892	133.2
		輪島	178.3	140	203.8(1931)	1930	127.4

月降水量の多い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 mm	平年差 %	これまでの最大(西暦年) mm	開始年	平年値 mm
4	3	輪島	228.5	202	247.0(1969)	1930	113.2

3か月間の平均気温の高い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値	平年差	これまでの最高(西暦年)	開始年	平年値
3～5	1=	富山	13.6	+1.8	13.6(2016)	1939	11.8
		敦賀	14.6	+1.7	14.6(1998)	1898	12.9
	2	伏木	13.0	+1.6	13.1(1998)	1884	11.4
	2=	輪島	12.2	+1.4	12.3(1998)	1930	10.8
	3	金沢	13.7	+1.5	13.9(2016)	1882	12.2
		福井	13.9	+1.5	14.2(1998)	1897	12.4
高田		12.7	+1.6	12.9(1998)	1922	11.1	

注) =タイ記録を示す

3か月間の降水量の多い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 mm	平年比 %	これまでの最大(西暦年) mm	開始年	平年値 mm
3～5	2	福井	663.5	154	669.9(1904)	1897	430.3
	3	輪島	586.0	157	623.0(1972)	1930	374.1
		伏木	543.5	144	561.0(1954)	1884	377.8

6. 天候情報発表状況  
なし

(注)この季節のまとめは、北陸地方の気象官署および特別地域気象観測所における気象観測値等をまとめたものです。なお、資料は速報値であり後日の調査で修正されることがあります。